



新たな地域活性化拠点を目指して

基本コンセプト

- 持続可能な食とエネルギーの地域循環型モデル地区の形成
- 公民連携・農商工連携による共創、共栄



23 農業振興ゾーン

- 6次産業化支援施設による農産物の商品化率向上
- ICTを活用した園芸用ハウスや植物工場などの導入によるスマート農業の普及拡大と担い手の確保
- 営農型太陽光発電による未来型農業の普及拡大
- 体験型観光農園による観光客・交流人口の増加 など



5 農業と交流の緩衝エリア

- 中央にイベント広場を配置し、にぎわいの場とすることで各ゾーンのつながりを創出

2 農業振興ゾーン

1 交流・地域活性化ゾーン

5 農業と交流の緩衝エリア

3 農業振興ゾーン

4 エネルギーの地産地消・脱炭素化ゾーン

4 エネルギーの地産地消・脱炭素化ゾーン

- 再生可能エネルギーで計画地内のエネルギー需要を賄い、脱炭素の先行地域を目指す

須賀川牡丹園



1 交流・地域活性化ゾーン

- 道の駅では計画地内で生産された農産物や市内の農産物・加工品などを販売
- 就農や移住に関する相談機能や防災拠点としての機能を整備 など

※各ゾーン・エリアの写真はイメージです。

地域循環型・地域活性化のモデル地区へ

牡丹台運動公園に隣接する「牡丹台アグリパーク」地区(約10ヘクタール)の市有地を公民連携により整備するため「道の駅ウルトラアグリパークすかがわ(仮称)整備構想」を策定しました。

この整備構想は、農業の担い手の確保や温室効果ガス排出量の削減、須賀川牡丹園を活用した地域の活性化など、複数の課題解決を図るために「持続可能な食とエネルギーの地域循環型モデル地区の形成」と公民連携・農商工連携による共創、共栄を基本コンセプトとしています。

土地利用の方向性として「交流・地域活性化」「農業振興」「エネルギーの地産地消・脱炭素化」の3つの機能を導入し、地域循環型・地域活性化のモデル地区を目指します。

5つのゾーンを計画

① 交流・地域活性化ゾーン
農産物や加工品を販売する道の駅

② 農業振興ゾーン(県道西側)
市内の農業関係者をターゲットにし、人材育成・6次産業化支援施設を配置

③ 農業振興ゾーン
果実や野菜の収穫を通し、スマート農業などの見学・体験ができる園芸用ハウスなどを配置

④ エネルギーの地産地消・脱炭素化ゾーン
計画地内のエネルギー需要を賄うための再生可能エネルギー施設を配置

⑤ 農業と交流の緩衝エリア
各ゾーンのつながりを創るにぎわいの場として、敷地中央にイベント広場を配置

隣接する須賀川牡丹園や牡丹台運動公園と連携しながら、一体的な観光拠点づくりを進め、地域活性化を目指します。

令和11年度の完成に向けて

今後の計画は2ページの表のとおりです。令和6年度以降は、本事業に参画する事業者の公募・選定をはじめ、土地利用上の手続きや、土地造成などを行い、再生可能エネルギー施設や、園芸用ハウス施設、道の駅などの整備を段階的に進めていく予定です。

農業と再生可能エネルギーを掛け合わせた、これまでの道の駅には留まらない新たな地域活性化拠点を目指します。

農政課 ☎(08)91338

● 行程計画

計画名/年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
基本計画などの策定		→						
事業者公募・選定		→	→					
土地造成・基盤整備など					→	→		
エネルギー施設・農業施設整備						→	→	
道の駅など事前協議・整備	→	→	→	→	→	→	→	営業開始